

UTSUNOMIYA **Blitzen** TIMES

March.2023
Vol.81



Race Report

- 03.25 カンセキ真岡芳賀ロードレース
- 03.26 カンセキ宇都宮清原クリテリウム



2023.03.25 栃木県真岡市・芳賀町

三菱地所 JCL 開幕戦 カンセキ真岡芳賀ロードレース

今年も JCL は栃木で開幕 新生西村ブリッツェン始動

残り2周回で小野寺がパンク
本多がアグレッシブ選手賞に

今年も JCL ロードレースツアーが真岡芳賀ロードレースで開幕した。7.2 km を17周するスプリンター向けコースで、宇都宮ブリッツェンが2連勝中。谷順成キャプテンはレース前に「誰でも勝ちを狙えるメンバー。積極的に前に展開していく」と意気込みを見せてスタートした。

朝からの雨はスッキリすることはないまま6周目に入る頃、阿部高之が抜け出しに成功。そこに高梨万里王選手（レバンテフジ静岡）、岡篤志選手（JCL TEAM UKYO）が追いつくと、3名で淡々とローテーションを始めた。しかし残り10周で吸

では沢田時たちが小野寺のために牽引するが、オーストラリア出身の24歳、ペトルス選手が残り1周を前にアタックをかけ、独走で7 km 先のゴールを目指す。後方では集団から追い上げを見せた岡選手が一人追走していた。

収まれ、新たな逃げが発生。カーター・ペトルス選手（ヴィクトワール広島）、宇都宮出身の床井亮大選手（レバンテフジ静岡）、山本大喜選手（JCL TEAM UKYO）、そして今季加入の本多晴飛の4名が飛び出し、残り6周のタイム差は1分半まで広がった。

宇都宮ブリッツェンのスプリンターといえば、昨年 JCL 年間チャンピオンを獲得した小野寺玲だが、終盤に不運のパンクがあり、復帰に力を使ってしまう。

ゴールを意識し始めた後続は1周で10秒程度その差を縮め、残り2周で先頭との差は30秒程度。集団が一気に仕掛ければ追いつきそうだが、小雨の影響もあるのかなか捕まさえられない。宇都宮ブリッツェン

結局ペトルス選手がそのまま逃げ切り、自身初となる JCL 公式戦で勝利をつかみとった。宇都宮ブリッツェンは、岡選手に続く小集団でゴールした小野寺が5位となった。勝利こそ逃したが、栃木在住の選手に贈られる栃木県民賞は小野寺が獲得。「昨年は勝つてこの賞をいただけだったので、賞はうれしいが悔しさが残った。最終盤でパンクしてうまく立ち回れなかった。反省点は残るが明日新たに頑張りたい」と振り返った。また、逃げ集団に加わった本多がベストアグレッシブライダー賞に。「新しいチームでの初戦、地元開催で緊張もしたが逃げに乗って最低限チームに貢献できたと思う。ひと安心なところもあるが、目の前で勝利を逃した悔しさもある。赤い服で応援してくれる皆さんが見えることは力になった。ありがとうございました」と笑顔を見せた。



カンセキ真岡芳賀ロードレース リザルト

1位	カーター・ペトルス（ヴィクトワール広島）	2:51:56	5位	小野寺玲	+00:22
2位	岡篤志（JCL TEAM UKYO）	+00:20	10位	谷順成	+00:26
3位	渡邊涼馬（VC FUKUOKA）	+00:21	12位	沢田時	+00:27
			19位	阿部高之	+00:49
			21位	本多晴飛	+01:11
			25位	中村魁斗	+02:09

【ロードレース後の小野寺玲のコメント】

悔しさが残る結果になった。最後まで表彰台内も見えたがスプリント仕切れなかった。寒さでキツかったこともあるが、最終盤のパンクでそこからの復帰で脚を使ってしまった。漕を味方につけられなかった展開。残り3周を切ってタイヤに違和感がありチームカーを読んだが、今回は運が悪かった。全体を振り返ると最初のアタック合戦はみんなで動くことができ、晴飛もいい動きをしてくれて手応えはあった。今日は悔しかったが、

僕に限らず今年はスプリントでできるメンバーが多いので、臨機応変に勝利が一番近い形で挑みたい。個人として総合優勝を狙うことは強くは意識していない。チームに最善の形でシーズンを走れたらいい。個人の結果ばかりでなく、結果として誰かが総合を獲れたらいいし、もし自分が狙えるなら終盤にかけて狙っていくスタンス。期待されているガッツポーズは勝った時にしか見せられないので、勝っているんならポーズを披露したい。





Digest movie



2023.03.26 栃木県宇都宮市清原工業団地周回コース 三菱地所JCL開幕戦 カンセキ真岡芳賀ロードレース チームはベストチーム賞 小野寺は惜しくも4位

**最後まで逃げが決まらない
アタック合戦のサバイバルレース**

JCL栃木連戦2日目は清原工業団地を舞台とした宇都宮清原クリテリウムだ。この日も強い雨だったが、「新加入選手が驚くような応援がうちの強み」と小野寺玲に言わしめるほど、沿道には赤を身にまとったファンが詰めかけた。

スタート後すぐにアタック合戦が始まるが、小坂光が常にチェックを入れる。昨年12月に骨折した右上腕の経過は良く、体調不良で欠場したフォン・チュンカイの代わりに急遽の出場だった。雨が得意な彼は献身的な走りを見せた。

チームは小野寺での勝利に向け、阿部嵩之や沢田時、半袖ジャージで気合を見せる本多晴飛もアタックをつぶしていく。残り2周で前日優勝のカーター・ベトルス選手

(ヴィクトワール広島)が仕掛けると、さすが谷順成がチェック。集団は「にまとまってきたまま最終周回に突入した。

最後のコーナーからの直線では、沢田が全力で小野寺を牽引したが、この日は相手が上手だった。集団スプリントから飛び出したのは渡邊諒馬選手(VCFUKUOKA)だ。小野寺は4位。

優勝は逃したが、チームは「ベストチーム賞」に。西村大輝監督は「チームの連携が素晴らしい。ますます良くなっている。間もなく優勝の報告ができると思う」と力強く答えた。また、ベストアシストライダー賞には沢田が。自身の受賞に驚きながらも「今日は全員がエースの玲のためにいいレースができ、自分がこの賞を代表でもらえたのだと思う。2日間、多くの応援で、雨の中でも熱い気持ちで走ることができた。応援ありがとうございました」とファンに感謝の気持ちを伝えた。

小野寺はゴール後、最初は2位として公式のインタビューにも答えたが、写真判定により4位に繰り下げられてしまった。表彰台を逃したが、小野寺は「チームメイトは最後までレースを組み立ててくれた。写真判定で微妙な結果にならないよう、次はしっかり勝ちを決めたい」とファンに向けて挨拶している。また「栃木県民賞」もセレモニーでは表彰されなかったが、後日リザルトが訂正され、小野寺が2年連続4度目の栃木県民賞を獲得した。



カンセキ宇都宮清原クリテリウム リザルト

1位 渡邊諒馬 (VCFUKUOKA)	1:03.3	4位 小野寺玲	+00:00
2位 孫崎大樹 (KINAN Racing Team)	+00:00	11位 本多晴飛	+00:02
3位 中田拓也 (ヴィクトワール広島)	+00:00	13位 阿部嵩之	+00:04
		24位 沢田時	+00:14
		28位 谷順成	+01:17
		DNF 小坂光	



【西村監督のレース後のコメント】

順位には現れなかったが、チームとしては機能していたと思う。連携も取れていて内容はよかった。宇都宮ブリッツェンはスプリント勝負する作戦だったため、前半は谷、小坂、本多を中心にも動いてもらった。阿部、沢田には3人が対応しきれない時はフォローするように指示していた。うまくフォローあって連携は高まっているように感じた。

2023 シーズン オフィシャルチームサポートカー



トヨタカローラ栃木株式会社様のヴェルファイアは、遠方のレース会場まで選手達が快適に移動できるようにと喜谷辰夫社長が選んでくださった車両です。広い室内空間で快適に日本各地のレース会場まで移動ができます。



トヨタカローラ栃木
https://www.corolla-ochigaki.jp/



チームの遠征や運営をサポートするチームオフィシャルカー。2023シーズンもトヨタカローラ栃木株式会社様と栃木スバル自動車株式会社様から、新しいオフィシャルチームカーをご提供いただきました。



栃木スバル自動車株式会社は新色のオアシスブルーに宇都宮ブリッツェンのロゴが冴えるスバル・クロスレック。チームの運営サポートはもちろん、各種イベントから時にはレース会場でもチームオフィシャルカーとして活躍します！



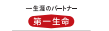
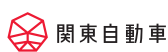
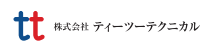
栃木スバル自動車
https://www.dodge-subaru.jp/



私たちは宇都宮ブリッツェンを応援しています。



この街を走る幸せを、ともに
Honda Cars 栃木中央



Thank you for your support

